

平成26年度

# 名北・尾北労働災害防止大会

開催

— 事業主、安全衛生担当者、第一線監督者300名が参加 —



名北・尾北労働災害防止大会  
(小牧勤労センターにて)

去る3月2日、名北・一宮・津島・瀬戸・江南各労働基準協会主催、名古屋北・一宮・津島・瀬戸・江南各労働基準監督

署、春日井市、小牧市、春日井商工会議所、小牧商工会議所後援のもと、小牧勤労センターにおいて「平成26年度 名北・尾北労働災害防



岡田安全課長

止大会」を開催しました。同大会は今回初めて、名北・尾北地域が合同で行い、各管轄地域の全業種を対象に、事業主、安全衛生・労務人事担当者および現場の第一線監督者など約3



松田安全衛生課長

00名が参加しました。当日ははじめに、当協会 宮原尚利小牧支部長（住友理工(株)安全環境統括部長）による開会挨拶、愛知労働局 岡田眞治安全課長による大会挨拶があり、つづいて、名古屋北労働基準監督署 松田成正安全衛生課長より「労働災害発生の実状と問題点について」と題し、名北・尾北地域の災害発生状況や災害発生のプロセス等を取り上げた安全講話がありました。つぎに、(一社)日本クレーン協会東海支部



増田専務理事・事務局長

増田稔久専務理事・事務局長より「労働災害防止100年の歴史 未来へつなぐ安全の心」と題した特別講演がありました。講演では、労災遺族の手紙の朗読があり、また「ツームストーンセーフティ(墓石安全)」と対極にあるのが先取り安全である」と労働災害の防止を今一度根本から考え直す内容となりました。その後、当協会小牧支部・春日井支部役員の協力のもと、労働劇「波紋ある工場の悲劇」を上演しました。劇の脚本・劇中の解説は、庄司



俊哉弁護士、出演は当協会職員をはじめ小牧支部・春日井支部役員総勢25名が担当しました。劇では労働災害が多くの方に及ぼす波紋「悲劇」を伝え、労働災害の悲惨さを訴えました。



宮原小牧支部長



山田春日井支部長

大会は盛況のうちに幕を閉じました。



庄司弁護士



労働劇  
「波紋／ある工場の悲劇」

## 第74回(平成27年度) 全国産業安全衛生大会のお知らせ

◆ 次回の全国産業安全衛生大会は、12年ぶりに当地名古屋市で開催されます。

平成27年10月28日(水)～30日(金)

会場 28日 総合集会 = 愛知県体育館  
29・30日 分科会 = 名古屋国際会議場、  
名古屋市市内各会場ほか

同時開催 緑十字展2015  
名古屋市中心小企業振興会館(吹上ホール)

参加費(1名) 一般12,900円 中災防賛助会員6,400円



※ 当地での開催となりますので、多くのご参加をお願いします。  
ぜひ平成27年度の業務としてご予約下さいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先：当協会総合受付 (☎052-961-1666)

### ● ● 労働安全衛生対策 事例募集 (募集期間 平成27年5月末日まで) ● ●

現在、東海地域の愛知・岐阜・三重・静岡の各労働局・労働基準監督署では、事業場で実際に行われた労働安全衛生対策についての事例募集を行っています。応募のあった事例のうち、基本コンセプトにふさわしい事例については、平成27年度全国産業安全衛生大会(愛知大会)、緑十字展愛知労働局ブースへの出展等をさせていただきます。

詳しくは、「愛知労働局 事例募集」で検索。

お問い合わせ先：愛知労働局安全課 (☎052-972-0255)  
名古屋北労働基準監督署安全衛生課 (☎052-961-8654)